

＜基本方針 1＞健康を保つための疾病予防

■事業方針 A 健康状態を把握するための機会の提供 (1/2)

令和 3 年 1 2 月末時点

事業名		評価指標		R1 年度	R2 年度	R3 年度	事業の内容等
				〔 上段：実績値 下段：目標値 〕	〔 上段：実績値 下段：目標値 〕	〔 上段：現状値 下段：目標値 〕	
特定健康診査	実施量	受診率	47.3% (法定報告値) 50%以上	44.3% (法定報告値) 52%以上	20.4% (11月受診分まで) 55%以上	対象者：40歳以上の被保険者 実施期間：5月～2月	
	成果	健康状態 未把握層の減少	39.7% 39%以下	42.0% 38%以下	56.7% 37%以下		
特定健康診査 受診勧奨	実施量	対象者への 事業周知率	対象者全員 対象者全員	対象者全員 対象者全員	対象者全員 対象者全員	受診勧奨通知発送： 7月 受診勧奨ハガキ 11月 パターン別受診勧奨通知 (6パターン) 変更点：受診勧奨ハガキの送付を追加	
	成果	受診勧奨した人の 受診率	36.6% 26%以上	21.9% 26%以上	— (※1) 26%以上		
早期介入 健診事業	ヤング健診	実施量	受診率	6.8% 9.4%以上	6.2% 9.8%以上	4.3% (11月受診分まで) 10.2%以上	対象者：20～39歳の被保険者 実施期間：5月～2月 内容：8月にスマホ de ドックの案内通知 とともに受診勧奨を行った。
		成果	特定健康診査 40～44歳受診率	23.5% (法定報告値) 25.5%以上	20.5% (法定報告値) 26%以上	16.1% (11月受診分まで) 26.5%以上	
	ICT を活用 した検査 (スマホ de ドック)	実施量	利用率	7.7% 7.1%以上	6.8% 7.2%以上	5.0% 7.3%以上	対象者：ヤング健診未受診者 実施期間：8月31日～2月28日
		成果	(ヤング健診と共通)				

※1：健診期間は2月末までのため、全健診データが揃った段階で値を算出。

<基本方針1>健康を保つための疾病予防

■事業方針A 健康状態を把握するための機会の提供 (2/2)

令和3年12月末時点

事業名	評価指標		R1年度	R2年度	R3年度	事業の内容等
			〔 上段：実績値 下段：目標値 〕	〔 上段：実績値 下段：目標値 〕	〔 上段：現状値 下段：目標値 〕	
がん検診 (胃がん・肺がん・ 大腸がん・子宮頸が ん・乳がん)	実施量	各がん検診 の 受診率	胃がん：26.1% (50～69歳) 大腸がん：24.7% (40～69歳) 肺がん：24.5% (40～69歳) 子宮頸がん：24.4% (20～69歳) 乳がん：27.3% (40～69歳)	胃がん：17.0% (50～74歳) 大腸がん：27.3% (40～74歳) 肺がん：27.0% (40～74歳) 子宮頸がん：18.1% (20～74歳) 乳がん：18.9% (40～74歳)	胃がん：21.8% (50～74歳) 大腸がん：16.4% (40～74歳) 肺がん：16.1% (40～74歳) 子宮頸がん：19.6% (20～74歳) 乳がん：21.6% (40～74歳) (11月受診分まで)	対象者：各がん検診ごとに異なる 実施期間：5月～2月 ※窓口でチラシを配布 ※受診率の算定方法 胃がん検診 (前年度受診者数+当該年度受診者数 -前年度及び当該年度における2年連 続受診者数)÷当該年度の対象者数× 100  大腸がん検診・肺がん検診 当該年度の受診者数÷当該年度の対 象者数×100  子宮がん検診・乳がん検診 (前年度受診者数+当該年度受診者数 -前年度及び当該年度における2年連 続受診者数)÷当該年度の対象者数× 100
			30%以上	35%以上	40%以上	
	成果	各がん検診 の 精密検査受 診率	胃がん：79.3% 大腸がん：77.2% 肺がん：89.0% 子宮頸がん：80.6% 乳がん：93.2%	胃がん：88.2% 大腸がん：80.7% 肺がん：92.6% 子宮頸がん：76.9% 乳がん：81.0%	胃がん：58.8% 大腸がん：39.5% 肺がん：67.2% 子宮頸がん：52.9% 乳がん：63.8% (11月受診分まで)	
			74%以上	78%以上	82%以上	

<基本方針1>健康を保つための疾病予防

令和3年12月末時点

■事業方針B 健康づくりに取り組めるしかけづくり

事業名		評価指標		R1年度	R2年度	R3年度	事業の内容等
				〔上段：実績値〕 〔下段：目標値〕	〔上段：実績値〕 〔下段：目標値〕	〔上段：現状値〕 〔下段：目標値〕	
特定保健指導	実施量	実施率	14.6%	17.1%	—	対象者：特定健康診査結果から判定	
			(法定報告値)	(法定報告値)	(※1)		
	25%以上	33%以上	42%以上				
	成果	特定保健指導による 特定保健指導対象者の 減少率	32.0%	22.4%	—		
			(法定報告値)	(法定報告値)	(※2)		
			26%以上	27%以上	28%以上		
特定保健指導 未利用者対策	実施量	未利用者勧奨実施率	100%	100%	100%	変更点：次の健診への意識向上を図るため、令和2年9月から未利用者に対して文書による再勧奨を始めた。	
			95%以上	95%以上	95%以上		
	成果	利用勧奨した人の 特定保健指導利用率	9.1%	8.3%	—		
			11%以上	11%以上	11%以上		
健康意識 向上の取組 (特典(インセンティブ)事業・ 各種講座)	あんじょう健康 マイレージ事業	実施量	達成者数 (カードの交付数)	1016人	1051人	1042人	対象者：市内在住・在学・在勤 変更点：年齢制限の撤廃
				(12月実施分まで)			
		前年度比増	前年度比増	前年度比増			
		成果	生活改善意欲 (※3)	67.3%	67.3%	63.3%	
			(法定報告値)	(法定報告値)	(11月受診分まで)		
			68%以上	68.5%以上	69%以上		
	各種講座	実施量	市民健康講座、 まちかど講座等 を実施	あんじょう健康 大学、まちかど 講座等を実施	あんじょう健康大 学、まちかど講座 等を実施	変更点：令和2年度から、市民健康講座と あんじょう健康大学を統合し、名称を「あ んじょう健康大学」として実施している。	
成果		(マイレージ事業と共通)					

※1：事業は実施中ですが、完了まで達していないため、現状値なし。 ※2：法定報告時（翌年度11月）に確認するため、現状値なし。

※3：特定健康診査質問調査で、「運動や食生活の改善をしてみようと思いますか」の質問に対し、「改善するつもりはない」以外の回答を選んだ人の割合。

<基本方針2>安心できる医療サービスの提供

■事業方針C 重症化予防に必要な医療受診等の案内

令和3年12月末時点

事業名		評価指標		R1年度 (上段：実績値 下段：目標値)	R2年度 (上段：実績値 下段：目標値)	R3年度 (上段：現状値 下段：目標値)	事業の内容等
「糖尿病」及び「糖尿病性腎症」の医療受診勧奨	【糖尿病医療受診勧奨】 ① 特定保健指導の対象者 で、 空腹時血糖 126 以上又は HbA1c6.5 以上の人	実施量	受診勧奨実施率	100%	100%	100%	内容：糖尿病等の医療受診の必要があると推測されるリスク保有者に、医療機関への受診勧奨を実施する。
				95%以上	95%以上	95%以上	
		成果	受診勧奨実施者が 医療受診した割合	88.9%	23.1%	—（※1）	
				13.4%以上	13.8%以上	14.2%以上	
	【糖尿病医療受診勧奨】 ②特定保健指導の対象外（非 肥満）で、空腹時血糖 140 以 上又は HbA1c7.0 以上の人	実施量	受診勧奨実施率	100%	100%	100%	
				95%以上	95%以上	95%以上	
		成果	受診勧奨実施者が 医療受診した割合	66.7%	56.3%	—（※1）	
				23.4%以上	23.8%以上	24.2%以上	
	【糖尿病性腎症医療受診勧 奨】 ③糖尿病医療受診勧奨対象者 で、尿蛋白+以上又は eGFR45 未満の人	実施量	受診勧奨実施率	100%	100%	100%	
95%以上				95%以上	95%以上		
成果		受診勧奨実施者が 医療受診した割合	63.6%	33.3%	—（※1）		
			23.4%以上	23.8%以上	24.2%以上		
「高血圧」及び「脂質異常症」 リスク保有者への情報提供	実施量	文書での 情報提供実施率	100%	100%	100%	内容：対象者にリーフレットを送付して情報提供を行う。	
			100%	100%	100%		
	成果	特定保健指導による 特定保健指導対象者 の 減少率	32.0%	22.4%	—（※2）		
			(法定報告 値) 26%以上	(法定報告値) 27%以上	28%以上		

※1：年度末のレセプトにて確認するため、現状値なし。

※2：法定報告時（翌年度11月）に確認するため、現状値なし。

<基本方針2>安心できる医療サービスの提供

令和3年12月末時点

■事業方針D 医療費等の負担が少ない受診方法等の啓発

事業名		評価指標		R1年度 〔上段：実績値〕 〔下段：目標値〕	R2年度 〔上段：実績値〕 〔下段：目標値〕	R3年度 〔上段：現状値〕 〔下段：目標値〕	事業の内容等
ジェネリック 医薬品等の 啓発	ジェネリック 医薬品の啓発	実施量	ジェネリック医薬品 差額通知の送付頻度	年4回	年4回	3回 (2月に4回目を実施予定)	内容： ・ジェネリック医薬品差額通知送付 ・「ジェネリック医薬品希望」と印字された保険証ケースの配布 ・広報折込チラシ
				年4回	年4回	年4回	
	成果	ジェネリック医薬品 の数量ベース利用率	76.4% (R2年3月診療分)	76.2% (R3年3月診療分)	74.9% (R3年9月診療分)		
			77%以上	78.5%以上	80%以上		
重複投薬者への 通知	実施量	重複投薬者の 抽出頻度	毎月	毎月	毎月	内容： 連合会にて対象者を抽出。 通知を送付。	
各種啓発事業 (啓発チラシ、啓発用品の配布)	実施量	PRチラシ掲載内容	8テーマ	9テーマ (※1)	5テーマ (※2)	内容： ・広報折込チラシ(年5テーマ) ・窓口で啓発品の配布	
			5テーマ 以上	5テーマ 以上	5テーマ 以上		
医療費通知	実施量	発送回数	年6回	年6回	4回 (1月に5回目、2月に 6回目を実施予定)	内容： 年6回発行。確定申告に使えるよう、6回目は2月に発行。	
			年6回	年6回	年6回		

※1【令和2年度広報折込チラシテーマ】健診(6月号)、国民健康保険税について(7月号)、高額療養費、接骨院等の正しいかかり方(8月号)、ジェネリック医薬品、第三者行為、マイナンバーカードの健康保険証利用(1月号)、国民健康保険の手続き、医療費適正化(3月号)

※2【令和3年度広報折込チラシテーマ】健診(6月号)、ジェネリック医薬品、接骨院等の正しいかかり方、マイナンバーカードの健康保険証利用、医療費適正化(12月号)